

デジタル&オフキャンパスでのさらなる深化――

## 学事暦の再構築と教学運営の実際Ⅲ

～ 新型コロナ禍で加速／クォーター制とセメスター制の併用／運用と検証 ～

【7月13日（火）開催】

ご参画・ご派遣のお願い

さる6月3日、政府の教育再生実行会議は「ポストコロナ期における新たな学びの在り方について(第十二次提言)」を公表しました。

その「2-(2)グローバルな視点での新たな高等教育の国際戦略」において「学事暦・修業年限の多様化・柔軟化と社会との接続の在り方」の項では、学事暦について「……学生が、自らの能力や適性、思い描くキャリアパスに応じた多様な学び方が可能となる大学を切り拓く観点から、秋季入学や4学期制などの導入により入学時期や卒業時期の多様化・柔軟化を進めていくことは重要」と述べております。

10年前に東大・濱田構想で導入論議が一時高まった「秋入学」について、昨年再び、新型コロナウイルス禍における教育の在り方を考えていく中で(学生の側からも提起され)議論されたのは記憶に新しいですが、同提言ではあわせて4学期制の導入について言及しております。

4学期制を中心に、こうした学事暦や単位制度の実質化に関するセミナーを小会では2011年12月から17年12月にかけて9本開催し、情報提供に努めました。また、教学運営の根幹となる重要なシステムであることから、13年5月にセミナーライブDVD版を下記の通り、刊行しました。改正大学設置基準第23条の〈法令編〉テキストと〈事例編〉ライブとして、筑波大学・国際基督教大学・高知工科大学の3ケースを収録しております。現在も、ロングセラーとして、活用いただいております。

◇ 2学期6区分・3学期・4学期制の新・教学運営――

### 学事暦の再構築と教育・履修システムの進化

～柔軟なアカデミック・カレンダーの再構築／論点整理と合意形成～

<http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/book/dvd2.pdf>

大学学部段階の学期制の状況を、文科省「教育内容等の改革状況」調査の直近2017年度版でみると、「4学期制 41 大学 5.5%」「3学期制 15 大学 2.0%」であり、「その他 107 大学 14.4%」の中に「2学期の中で学期分割の

授業科目を配置」「夏季・春季休業期間に特別学期」「5学期制」「6学期制」が含まれ、学事暦が多様化している状況を見ることができます。しかしながら「2学期制 690 大学 92.7%」のとおり、いわゆるセメスター制が未だ大本となっております。4学期等の導入が学部単位でスタートすることを考慮すれば、2500余の学部対象の調査が求められます。

さて、4学期制の教学運営上のメリット・デメリット、そして、学生・教員・職員にとっての評価については、既にほぼ明らかになっていると思います。しかしながら、具体の制度設計、導入時の合意形成、運用・活用の実情、見直しプロセスについては、検討・研究課題が多々あります。

今回の講師の近田 政博 氏(神戸大学)が執筆された下記の2論考について、是非ともご高読いただきたいと存じます。

□ 「神戸大学における2学期クォーター制導入をめぐる課題」

(神戸大学 大学教育推進機構『大学教育研究』第26号 2018年3月)

<http://www.iphe.kobe-u.ac.jp/kiyoh/kiyoh26/07.pdf>

□ 「2学期クォーター制をどう見直すか ～神戸大学内の議論を中心に～」

(神戸大学 大学教育推進機構『大学教育研究』第28号 2020年3月)

<http://www.iphe.kobe-u.ac.jp/kiyoh/kiyoh28/05.pdf>

武蔵野大学の北條 英勝 氏からは、4学期制による学修の効率性と質向上、海外研修・留学や学外学修の促進、積み上げ型カリキュラムからスパイラル学修へ、オンライン化経験による教育刷新について、報告・論展いただきます。

新潟大学の福島 治 氏からは、「クォーター制」における5パターンの開講形態、長期学外学修の加速、初年次教育の見直し等の教学改革の全体状況を報告・論展いただきます。

津田塾大学の大島 美穂 氏からは、4ターム制・ギャップターム活用の制度設計、学外学修センター設置による学外学修の活動実績、学生と教員の視点と外部評価、GPI評価について報告・論展いただきます。

本セミナーの参加方式は、「当日会場参加」・「当日オンライン参加」・「メディア参加」の3形式をご用意しております。開催まで1カ月弱となり、たいへん性急な次第ですが、何卒、ご参画・ご派遣につき、ご高配のほど、お願い申し上げます。

また、ご多忙の折とは存じますが、ご関心の各位に本案内を転送いただけましたら幸いです。パンフレット版は下記をご高覧願います。

<http://chiikikagaku-k.co.jp/kkj/seminar/210713.pdf>